

平成 17 年秋季講演会 講演プログラム

日 時：2005 年 11 月 24 日（木），25 日（金）
場 所：福岡リーセントホテル

11 月 24 日（木）

No.	時 間	表 題	著 者	○印講演者
〔第1会場〕				
	13:15～16:20	一般講演（G1-1 ～ G1-7）		
2005A-G1-1	13:15～13:40	有限水深二層流体中での浮体に働く波漂流力	○柏木 正	
2005A-G1-2	13:40～14:05	複雑形状の結合部を持つ超大型浮体構造物の波浪中応答解析	○桃木 勉 平石 哲也	米山 治男
2005A-G1-3	14:05～14:30	Elastic Responses in Waves of Coastal Cargo Ship with Flexible Joints	○Budi S Prasodjo Kimio Saito Yasushi Higo Hisashi Nobukawa Katsuya Maeda	
2005A-G1-4	14:30～14:55	Three-Dimensional Numerical Simulation of Sloshing in Tanks of LNG Carriers	○Humberto Shigeki Makiyama Makoto Arai	
	14:55～15:05	— 休 憩 —		
2005A-G1-5	15:05～15:30	超大型コンテナ船に生ずる船首フレアスラミングの数値シミュレーション	荒井 誠 小川 剛孝	○若本 進児 熊野 厚
2005A-G1-6	15:30～15:55	水面衝撃問題における物体形状と空気巻き込みの影響	○土橋 純也	
2005A-G1-7	15:55～16:20	船首部波崩壊現象に関する研究 —ジェットによる船首部スプレーの近似—	○慎 勝進 新開 明二	山口 悟
	16:20～16:50	（ポスターセッション コアタイム）		
〔第2会場〕				
	13:15～16:20	オーガナイズドセッション(OS3)：IMO基準の機能用件化に向けての非損傷時復原性評価（オーガナイザー：梅田 直哉）		
2005A-OS3-1		Model Experiment on Parametric Roll of a Post-Panamax Container Ship in Short-Crested Irregular Seas	○橋本 博公 梅田 直哉	松田 秋彦
2005A-OS3-2		波浪中復原力変動振幅及び平均値の推定	○小川 剛孝	石田 茂資
2005A-OS3-3		大域的分岐としてのブローチング発生条件の予測	○堀 正寿	梅田 直哉
2005A-OS3-4		Weather Criterion評価のための標準模型試験法について	○田口 晴邦 沢田 博史	石田 茂資
2005A-OS3-5		Prediction of Capsizing Probability for a Ship with Trapped Water on Deck Taken into Account	○Daeng Paroka 梅田 直哉	
2005A-OS3-6		ステレオ計測カメラを用いた横波中の甲板滞留水の計測	○松田 秋彦 橋本 博公	高橋 秀行
2005A-OS3-7		大型客船の横波中大振幅パラメトリック横揺れの計測	池田 良穂 Abdul Munif	片山 徹
2005A-OS3-8		Numerical Prediction of Parametric Rolling of a Large Passenger Ship in Beam Seas	○Abdul Munif 池田 良穂	片山 徹
	16:20～16:50	（ポスターセッション コアタイム）		
	17:00～18:00	（特別講演）		
〔第3会場〕				
	13:15～16:20	オーガナイズドセッション(OS7)：発想が萌芽するとき —国際的萌芽研究の創成を目指して—（オーガナイザー：篠田 岳思，大塚 耕司）		
2005A-OS7-1		若手に求める萌芽とは — 既成概念に囚われないで —	○細田 龍介	

2005A-OS7-2	海洋深層水の大量・多用途利用による新基幹産業の創出	○大内 一之	
2005A-OS7-3	ノルウェーの船舶海洋工学研究のCOEについて	○胡 長洪	
2005A-OS7-4	最近のIMOにおける国際基準の検討状況及び関連する国際動向について	○中川 直人	
2005A-OS7-5	グローバル化時代における技術者教育の試み	○濱田 邦裕	
2005A-OS7-6	JABEEによる教育システムの再開発と導入の問題点	○新宅 英司	
2005A-OS7-7	米国のビジネススクールにみる「リーダー教育」	○竹川 正夫	
2005A-OS7-8	オランダの教育制度と在外研究他の紹介	○難波 康広	
2005A-OS7-9	工学教育への創成型教育の適用について	○古川 芳孝	篠田 岳思
2005A-OS7-10	国際共同プログラム Student Friendly Software for Marine Design の紹介	○安藤 英幸	
2005A-OS7-11	造船系大学院に所属する大学院生の研究意識に関するアンケート調査	○村井 基彦	
2005A-OS7-12	萌芽を発展させる仕組みづくり	○有馬 正和	
	16:20～16:50	(ポスターセッション コアタイム)	
	17:00～18:00	(特別講演)	

〔第4会場〕

	13:15～16:20	オーガナイズドセッション(OS4)：船のライフサイクル・サービスと情報マネジメント・システム (オーガナイザー：青山 和浩)	
2005A-OS4-1		CISS (Computer Integrated Shipping and Shipbuilding) (日本造船学会 将来技術検討委員会 (PhaseII) を振り返って)	○青山 和浩
2005A-OS4-2		船舶の品質向上を目指した次世代情報ネットワークの構築	○鈴木 英樹
2005A-OS4-3		船舶の維持管理における技術サービスについて	○小林 敬幸 笠原 純一
2005A-OS4-4		船用機関部保守支援システム	○桂川 敬史 山瀬 善宏 上田 昭志 村上 昭二
2005A-OS4-5		船舶の構造健全性維持のための情報マネジメントシステムについて	○川村 恭己 角 洋一
2005A-OS4-6		船用蒸気プラント配管の流れ加速腐食による減肉について	○椎原 裕美 宋 玉中 松下 久雄 中井 達郎 永山 友哉
2005A-OS4-7		3次元計測に基づく設備メンテナンスシミュレーションのための3Dモデリングプラットフォーム	○増田 宏 宮川 俊樹 矢作 徹
2005A-OS4-8		小型疲労センサの実船への適用 —耐環境性の向上—	○小林 朋平 村岸 治 仁瓶 寛太 西山 五郎
2005A-OS4-9		メンテナンス作業におけるデータ管理手法に関する研究	○宅見 和久 大和 裕幸 安藤 英幸 稗方 和夫
	16:20～16:50	(ポスターセッション コアタイム)	

〔第5会場〕

	13:15～16:20	一般講演 (G5-1 ～ G5-7)	
2005A-G5-1	13:15～13:40	平板まわりのOseen流れに関する自己随伴変分原理について	○松村 清重 加藤 慎太郎
2005A-G5-2	13:40～14:05	重力流先端部の構造(第3報)	○桂樹 哲雄 馬場 信弘 北浦 堅一
2005A-G5-3	14:05～14:30	一般座標系格子ボルツマン法の格子依存性に関する研究	○高島 怜子 甲斐 寿
2005A-G5-4	14:30～14:55	7.2m長モデルによる前翼型表面効果翼船の自航模型試験	○秋元 博路 川上 真秀 久保 昇三
	14:55～15:05	—休 憩—	
2005A-G5-5	15:05～15:30	CFD/水槽試験による曳き波を低減する双胴船型の開発	○宮田 秀明 山崎 尋 Antonin Colicic

			川合 崇	秋元 博路
2005A-G5-6	15:30～15:55	随伴変数法を用いた2次元翼形状改良問題に関する研究	勝井 辰博 古水 就也	○富田 高嗣
2005A-G5-7	15:55～16:20	実数値遺伝的アルゴリズムによる造波抵抗低減を目的とした多目的船型最適化	○平山 明仁	安東 潤
	16:20～16:50	(ポスターセッション コアタイム)		

〔第6会場〕

	13:15～16:20	一般講演 (G6-1 ～ G6-7)		
2005A-G6-1	13:15～13:40	腐食ピットが発生している部材の引張強度評価	○中井 達郎 山本 規雄	松下 久雄
2005A-G6-2	13:40～14:05	海洋環境下の腐食鋼管部材の耐力評価について	○山根 信 松田 漢 岩尾 直樹	田中 王治 藤久保 昌彦
2005A-G6-3	14:05～14:30	自動要素分割ソフトを使用した溶接止端部疲労き裂の破壊力学解析	○大沢 直樹 澤村 淳司	橋本 聖史
			Balakrishnan Biju 中田 賢治	
2005A-G6-4	14:30～14:55	交代繰返し法による溶接止端部における疲労き裂の応力拡大係数の数値評価	○澤村 淳司 橋本 聖史	大沢 直樹 長曾我部 寛
	14:55～15:05	—休 憩—		
2005A-G6-5	15:05～15:30	磁気特性を用いた非破壊検査によるき裂損傷検出システムに関する研究 (その2 溶接継手部への適用)	○橋本 聖史 田中 義照 和田 裕紀	大沢 直樹 澤村 淳司 森 秀之
2005A-G6-6	15:30～15:55	船体縦通材における疲労き裂伝播シミュレーション -3次元板骨構造の複数き裂同時進展解析法-	○大川 鉄平 毛利 雅志	角 洋一 川村 恭己
2005A-G6-7	15:55～16:20	面内ガセット溶接継手の疲労き裂成長シミュレーション	○永田 幸伸 後藤 浩二	末田 明 豊貞 雅宏
	16:20～16:50	(ポスターセッション コアタイム)		

11月25日(金)

〔第1会場〕

	9:00～16:55	一般講演 (G1-8 ～ G1-23)		
2005A-G1-8	9:00～9:25	円形波浪水槽の水面に文字を描く研究	内藤 林 箕浦 宗彦	○奥山 悦郎
2005A-G1-9	9:25～9:50	時間領域ハイブリッド法による波浪中船体運動および抵抗増加の推定	○片岡 史朗	岩下 英嗣
2005A-G1-10	9:50～10:15	トランサム船尾の形状と船尾造波について	○木原 一	山鹿 史憲
2005A-G1-11	10:15～10:40	柱状滑走体まわり流れの境界要素解析	○木原 一	
	10:40～10:50	—休 憩—		
2005A-G1-12	10:50～11:15	A Practical Prediction Method of Hydrodynamic Forces Acting on the Hull of A Blunt-body ship	Donghoon Kang ○Kazuhiko Hasegawa	
2005A-G1-13	11:15～11:40	操縦流体力における舵力及び船体相互干渉数学モデルの検討	○芳村 康男 阿保 勇人	富田 陽介
2005A-G1-14	11:40～12:05	CFDによる定常旋回状態における船体と舵の干渉計算	○宮崎 英樹 二村 正 藤原 敏文	上野 道雄 塚田 吉昭
	12:05～13:00	—休 憩—		
2005A-G1-15	13:00～13:25	実船の操縦性能推定法に関する研究	○青木 伊知郎 古川 芳孝	貴島 勝郎
2005A-G1-16	13:25～13:50	推進方式の異なるポッド船の操縦性能試験結果について	○樫野 純 原口 富博	塚田 吉昭 加納 敏幸

○印講演者

2005A-G1-17	13:50～14:15	高速三胴船の操縦性能に及ぼすアウトリガー配置の影響	○安川 宏紀 小瀬 邦治	平田 法隆
2005A-G1-18	14:15～14:40	下向き揚力による水上船舶の潜航に関する試行的実験 (その2) —揚力・抵抗の計測—	○小山 博之 高山 武彦 近藤 信哉	平山 次清 平川 嘉昭 秋山 真彦
	14:40～14:50	—休 憩—		
2005A-G1-19	14:50～15:15	160トン型底びき漁船転覆の解析	○芳村 康男 松田 秋彦	卞 恩花
2005A-G1-20	15:15～15:40	船舶の橋梁下通行安全性に関する研究	○Seong Yu Chang 井上 欣三 広野 康平	白井 英夫 世良 亘
2005A-G1-21	15:40～16:05	環境負荷低減を考慮した電気推進システムの最適運航 制御に関する研究 —運航時の負荷変動に合わせた台 数制御の効果について—	○南 佳成	
2005A-G1-22	16:05～16:30	実海域性能を考慮した内航船の船速計画システム	○辻本 勝 村山 貴彦	南 佳成 高井 博司
2005A-G1-23	16:30～16:55	実海域性能を考慮した航海計画システムと気象海象予 測の影響	○辻本 勝	谷澤 克治

〔第2会場〕

	9:00～16:55	一般講演 (G2-1 ～ G2-9)		
2005A-G2-1	9:00～9:25	斜流プロペラに発生するルート・キャビテーションと エロージョン防止フィン	○藤沢 純一 川並 康剛	右近 良孝 山崎 正三郎
2005A-G2-2	9:25～9:50	超高速ビデオカメラを用いたプロペラ・ルート・キ ャビテーション崩壊現象の観察	○迫田 我行 右近 良孝	川並 康剛 松田 登
2005A-G2-3	9:50～10:15	フォワードスキュープロペラとパーシャルレーキプロ ペラのキャビテーション試験	山崎 正三郎	○岡崎 全伯
2005A-G2-4	10:15～10:40	実用型スーパーキャビテーション・プロペラの研究 (第2報) 軸流および斜流中におけるプロペラ単独性能 に及ぼす翼根部後縁形状の影響	○姫井 弘平 山崎 幹夫 右近 良孝	山崎 正三郎 工藤 達郎
	10:40～10:50	—休 憩—		
2005A-G2-5	10:50～11:15	軸対称体におけるバブルキャビテーションの初生につ いて	○長屋 茂樹	
2005A-G2-6	11:15～11:40	近赤外線レーザー光源と画像解析によるキャビテーシ ョン気泡核分布の計測について	○長屋 茂樹	
2005A-G2-7	11:40～12:05	二重反転プロペラにおける前後プロペラの干渉影響	○迫田 我行	川並 康剛
	12:05～13:00	—休 憩—		
2005A-G2-8	13:00～13:25	高効率小型軽量プロペラの開発	佐々木 紀幸 ○青野 健	岩本 三郎
2005A-G2-9	13:25～13:50	汎用CFDを用いたプロペラ単独性能の計算例	○蓮池 伸宏 安東 潤	山崎 正三郎
	13:50～16:55	オーガナイズドセッション(OS2)：水波と物体の強非線形相互作用 (オーガナイザー：柏木 正)		
2005A-OS2-1		A CIP and Multigrid-based CFD Method for Numerical Simulations of Highly Nonlinear Phenomena	○西 佳樹 柏木 正	胡 長洪
2005A-OS2-2		CIP法による強非線形波浪中浮体動揺に関する計算精 度の検証	胡 長洪 柏木 正	○喜多代 顕彦
2005A-OS2-3		CIP-EDEM法による固体・流体相互作用の数値解析	○陸田 秀実	土井 康明
2005A-OS2-4		船体の強制運動を伴う海水打ち込みの粒子法による3次 元数値解析	○柴田 和也 谷澤 克治	越塚 誠一
2005A-OS2-5		CFDシミュレーション法による斜波中船体運動と抵抗 増加の推定	○折原 秀夫	宮田 秀明
2005A-OS2-6		フリーク波中の船体応答と波浪荷重の推定	○南 真紀子 Sebastien Jean	沢田 博史 谷澤 克治
2005A-OS2-7		大型コンテナ船の波浪中縦曲げモーメントに関する研 究	○三宅 竜二 熊野 厚	朱 庭耀

2005A-OS2-8		波浪中船体応答の非線形性が短期及び長期予測に及ぼす影響について	○小川 剛孝 石田 茂資	南 真紀子
〔第3会場〕				
	9:00～12:05	オーガナイズドセッション(OS5)：次世代船舶の機能向上 — 艦装における環境・エネルギー問題について— (オーガナイザー：藤本 由紀夫, 篠田 岳思)		
2005A-OS5-1		ごみ処理船に関する研究	○田嶋 太陽 森 剛敏	安田 耕造
2005A-OS5-2		電気分解によるバラスト水の処理に関する基礎的研究	○新宅 英司	佐々木 啓太
2005A-OS5-3		酸化チタン光触媒の超親水性を利用した冷却	○古林 義弘	
2005A-OS5-4		Wheel House の新技術による熱環境改善	○下出 博之	古林 義弘
2005A-OS5-5		ストレートダリウス型風車のパワーと流れの数値解析	○土井 康明	蔣 志超
2005A-OS5-6		非常時曳航装置義務化に関するFSAについて	○金湖 富士夫 松岡 猛	伊藤 博子
2005A-OS5-7		最近建造の中大型旅客フェリーにおけるバリアフリー適用について	林 知得	○広野 義和
2005A-OS5-8		輸送機器の乗り心地環境計測センサーの開発	○藤本 由紀夫 Taufiq Arif Setianto	
	12:05～13:00	— 休 憩 —		
	13:00～14:40	一般講演 (G3-1 ～ G3-4)		
2005A-G3-1	13:00～13:25	片側無限長平板浮体の流力弾性要素の開発	坪郷 尚 ○藪内 慎也	正岡 孝治
2005A-G3-2	13:25～13:50	画像情報を用いたFEM解析支援アプリケーションソフトの開発	○福田 順子	
2005A-G3-3	13:50～14:15	分散型コンピュータ環境を利用した並列計算による構造振動解析に関する研究	安澤 幸隆	○田淵 祥子
2005A-G3-4	14:15～14:40	曲率線展開による新外板展開法とそのソフトウェア・パッケージ化について	○松尾 宏平 畑瀬 慎一郎 犬走 朝信	松岡 一祥 岩崎 賢治
	14:40～14:50	オーガナイズドセッション(OS6)：船舶用塗料の現状と将来 (オーガナイザー：村上 睦尚)		
2005A-OS6-1		バラストタンクにおける防食の現状	○村上 睦尚 田中 義照 岡 正義	松岡 一祥 林 慎也
2005A-OS6-2		バラストタンク防食技術の開発状況	○松岡 一祥 勝又 健一 高田 篤志	村上 睦尚 岡 正義
2005A-OS6-3		防汚塗料の現状	○肥後 清彰	
2005A-OS6-4		低VOC防汚塗料の開発状況	大多和 泰雄 田辺 真一	岡田 昌満 ○尾野 眞史
2005A-OS6-5		船舶用塗料の性能評価技術	○山根 健次 林 慎也 松岡 一祥	勝又 健一 小島 隆志
〔第4会場〕				
	9:00～10:40	一般講演 (G4-1 ～ G4-4)		
2005A-G4-1	9:00～9:25	船舶が遭遇する異常波浪の統計学的シミュレーション技法について	○新開 明二 池田 亮	松尾 宏平 慎 勝進
2005A-G4-2	9:25～9:50	航路および季節を考慮した嵐モデルの構築	大沢 直樹 澤村 淳司 中井 棟平	○橋本 聖史 利光 徹治
2005A-G4-3	9:50～10:15	波浪荷重の最大値の推定における想定海象の設定とリスク解析	○河邊 寛	深澤 搭一
2005A-G4-4	10:15～10:40	設計不規則波と直接荷重解析法によるコンテナ船の強度検討について	○深沢 塔一 金平 裕次	宮崎 智
	10:40～10:50	— 休 憩 —		

10:50～16:55		オーガナイズドセッション(OS1)：新しい展開をみせる水中ロボット技術 (オーガナイザー：加藤 直三)	
2005A-OS1-1	海底サンプル回収ロボットの展望について	○小林 英一 和田 一育 小原 敬史 藤本 勝樹	井上 朝哉 川崎 忠幸 井田 匡彦 大須賀 公一
2005A-OS1-2	手作業のできる自律型水中ロボット技術	○小川 洋司	
2005A-OS1-3	沿岸構造物検査用水中ロボットの可能性について	○渡邊 啓介 加藤 直三 柴田 陽三 鳥谷 勝己	小原 敬史 日下 祐三 白石 哲也 八木 康史
2005A-OS1-4	水中ロボットによるプランクトンの動態予測	○加藤 直三 一見 和彦 中田 喜三郎 広川 潔 日下祐三	秋葉 龍郎 中辻 啓二 川崎 忠幸 荒井 修亮 服部 真人
2005A-OS1-5	AUVマルチエージェント技術の展望について	○渡邊 啓介	
2005A-OS1-6	mnSOMを用いた適応型ニューロネットコントロールシステムの開発	○西田 周平 古川 徹生	石井 和男
2005A-OS1-7	水中作業機械を対象としたバイラテラル操作型遠隔操作システムの構築	○平林 丈嗣 加藤 英夫	白石 哲也
2005A-OS1-8	自律型曳航体による水中観測システムの開発	○白石 哲也 田中 敏成	酒井 浩
2005A-OS1-9	長距離自律無人探査機「うらしま」の制御システム開発	○山本 郁夫 月岡 哲 百留 忠洋 石橋 正二郎	青木 太郎 吉田 弘
2005A-OS1-10	海中探査機用閉鎖式燃料電池システムの開発	○百留 忠洋 山本 郁夫 吉田 弘 澤 隆雄 石川 暁久	青木 太郎 月岡 哲 田原 淳一郎 石橋 正二郎
2005A-OS1-11	海底探査機用トルクバランスケーブルの捻れ現象と非捻回ケーブルの開発	○矢野 裕亮	高川 真一
2005A-OS1-12	3軸胸鰭運動装置付き水中ロボット"PLATYPUS"の誘導制御	加藤 直三 鈴木 博善 重富 俊秀	○方山 朋久 安藤 義人
2005A-OS1-13	生物模倣型水中ロボットのための弾性体胸鰭アクチュエータ	○安藤 義人 鈴木 博善 神田 岳文	加藤 直三 鈴木 康一 遠藤 聡
2005A-OS1-14	胸鰭運動装置と胸鰭を有する水中ロボットまわり流れの数値解析について	○鈴木 博善	加藤 直三
2005A-OS1-15	高機能魚型ロボットの開発	○市来崎 哲雄 末田 穰 寺田 郁二	陰山 優造 山本 郁夫
2005A-OS1-16	屈曲型側ヒレ推進機構を持つ水中移動体の基本運動特性に関する実験	戸田 保幸 下垣 貴志	○池田 博文

〔第5会場〕

9:00～16:05		一般講演 (G5-8 ～ G5-21)	
2005A-G5-8	9:00～9:25	擾乱のある従動荷重を受ける薄肉シェルの動的挙動と相関次元	○岡畑 豪 福地 信義
2005A-G5-9	9:25～9:50	有限要素内部の密度分布を制御したトポロジー最適化	北村 充 濱田 邦裕 ○田中 涼嗣 有田 洋介

2005A-G5-10	9:50～10:15	設計変数の不確定性を有する構造最適設計に関する研究	北村 充 ○谷川 俊夫	濱田 邦裕
2005A-G5-11	10:15～10:40 10:40～10:50	位相最適化手法を用いた二重底構造の最適化 —休 憩—	奥本 泰久	○濱川 博行
2005A-G5-12	10:50～11:15	ニューラルネットワークを用いた溶接変形の予測	奥本 泰久	○江口 茂男
2005A-G5-13	11:15～11:40	ニューラルネットワークを用いた防撓パネルの変位および応力の予測に関する研究	○上寺 哲也 北村 充	水田 玲子 濱田 邦裕
2005A-G5-14	11:40～12:05 12:05～13:00	組み合わせ荷重を受ける連続防撓パネルの最終強度推定式の開発に関する研究 —休 憩—	○原田 実 柳原 大輔	藤久保 昌彦
2005A-G5-15	13:00～13:25	大波高中における船体の構造応答解析手法について	○飯島 一博	矢尾 哲也
2005A-G5-16	13:25～13:50	大波高規則波向波時のコンテナ船縦曲げ荷重について	○中住 昭吾 亀岡 福太郎 鈴木 克幸 木下 健	石 江水 早稲田 卓爾 谷澤 克治
2005A-G5-17	13:50～14:15	大型コンテナ船の就航中実船計測	○宮原 健一郎 阿部 憲和	松波 亮樹 熊野 厚
2005A-G5-18	14:15～14:40 14:40～14:50	有孔パネルの応答を表すISUM要素の開発 —休 憩—	○石橋 公也 矢尾 哲也	藤久保 昌彦
2005A-G5-19	14:50～15:15	衝突損傷したタンカーの残存強度	○遠藤 久芳	原田 晋
2005A-G5-20	15:15～15:40	緩衝型船首構造の耐衝突性能（油流出防止効果について）	○遠藤 久芳 宮本 武 橋爪 豊	山田 安平 川野 始
2005A-G5-21	15:40～16:05	初期不整を有する殻構造の様々な応力状態における座屈強度	吉川 孝男	○石川 倫浩

〔第6会場〕

	9:00～16:30	一般講演（G6-8 ～ G6-22）		
2005A-G6-8	9:00～9:25	大水深ライザー管のゲインスケジューリング制御の水槽実験について	○大坪 和久 梶原 宏之 小寺山 亘	眞鍋 崇寛 千賀 英敬
2005A-G6-9	9:25～9:50	ライザー管のVIVを模擬した強制動揺実験とVIV発生特性について	増田 光一 近藤 典夫	○居駒 知樹 前田 久明
2005A-G6-10	9:50～10:15	エアクッション支持浮体の規則波中応答特性と喫水影響に関する研究	○居駒 知樹 林 昌奎 増田 光弘	増田 光一 前田 久明
2005A-G6-11	10:15～10:40 10:40～10:50	Experimental Research of Hydrodynamic Force on Inclined Cylinder —休 憩—	Marcio Michiharu Tsukamoto ○Chang-Kyu Rheem	
2005A-G6-12	10:50～11:15	衝突水塊による衝撃力と衝撃音の相関に関する研究—被衝突平板寸法の影響—	○肥後 靖	山田 良
2005A-G6-13	11:15～11:40	橋脚を利用した潮流発電の研究 —その1 潮流パワーについて—	経塚 雄策 城野 清治	○郡司 智博
2005A-G6-14	11:40～12:05 12:05～13:00	潮流を利用する海底地下水くみ上げ装置の開発 —休 憩—	経塚 雄策 三浦 孝之	○伊東 慎吾 川口 繁保
2005A-G6-15	13:00～13:25	メタンハイドレートによるLNG Boil Off vaporの貯蔵	○古林 義弘	
2005A-G6-16	13:25～13:50	ガスハイドレートを利用した海底堆積層におけるCO2貯留の経済性評価	○乾 正幸 影本 浩 坂本 靖英	佐藤 徹 駒井 武 川村 太郎
2005A-G6-17	13:50～14:15	西部熱帯太平洋海域における炭素循環モデルの構築	○中谷 直樹 奥野 武俊	濱宮 大智
2005A-G6-18	14:15～14:40 14:40～14:50	ムラサキイガイの空間と餌をめぐる競争モデルの開発 —休 憩—	○北澤 大輔	

2005A-G6-19	14:50～15:15	海産バイオマスのガス化に関する基礎的研究	○生田 方明	大塚 耕司
2005A-G6-20	15:15～15:40	アオサバイオマス有効利用システムの総合評価 ―愛知県蒲郡市の事例―	○吉野 茜	大塚 耕司
2005A-G6-21	15:40～16:05	多摩川河口干潟の底生生物の多様性と、羽田空港拡張工事にともなう影響予測について	○西 栄二郎	田中 克彦
2005A-G6-22	16:05～16:30	沿岸域環境アセスメントの核となる多毛類（環形動物）の多様性評価；福岡県今津干潟と八代海不知火干潟の例	○西 栄二郎 森 敬介	田中 克彦

〔第7会場〕

	9:00～16:05	一般講演（G7-1 ～ G7-14）		
2005A-G7-1	9:00～9:25	運航条件下の軸受高さ変化を考慮した軸系アライメント設計について	○宋 玉中 椎原 裕美	白木 大輔 永山 友哉
2005A-G7-2	9:25～9:50	船用ディーゼル推進プラントの熱力学的性能評価	○曹 莉 石田 紀久	杉田 英昭 三輪 誠
2005A-G7-3	9:50～10:15	実際航路における各種LNG船用推進機関のコスト比較	○高脚 寛 石田 紀久	杉田 英昭
2005A-G7-4	10:15～10:40	The Evaluation of Modal Shift by Ecological Footprint Method	○劉 平健	小林 英一
	10:40～10:50	―休 憩―		
2005A-G7-5	10:50～11:15	海洋深層水汲上げによるエネルギー・魚類同時生産施設のフィジビリティスタディ	○大内 一之	渡辺 敬之
2005A-G7-6	11:15～11:40	油吸着材のライフサイクルアセスメント	○齊藤 雅樹 木本 弘之	小倉 秀 永水 堅
2005A-G7-7	11:40～12:05	船舶設計への設計公理の適用に関する一考察	新開 明二 ○口木 裕介	山口 悟 岡本 恵一
	12:05～13:00	―休 憩―		
2005A-G7-8	13:00～13:25	造船設計における知識マネジメントに関する研究（第3報）	○中澤 崇 大和 裕幸	稗方 和夫 安藤 英幸
2005A-G7-9	13:25～13:50	数理計画手法を用いた定期船航路の計画に関する研究	大和 裕幸	○田中 大士
2005A-G7-10	13:50～14:15	The Hub Location Problem in Liner Shipping	○Kelly Takano	
2005A-G7-11	14:15～14:40	コンテナターミナルの荷役データ分析によるコンテナスループット向上に関する研究	篠田 岳思 城下 潤	○金 華榮 田中 太氏
	14:40～14:50	―休 憩―		
2005A-G7-12	14:50～15:15	BRM研修効果の測定について ～意識変化評価から定着度評価まで～	○高橋 浩子 桑野 偕紀	井上 欣三
2005A-G7-13	15:15～15:40	操船員の認知タスクシミュレーションのインシデント分析への応用	○角田 領 大和 裕幸	安藤 英幸
2005A-G7-14	15:40～16:05	システムダイナミクスを用いた海難リスクの一考察	有馬 英利 Lahar Baliwangi 古荘 雅生	○長谷川 堅一 石田 憲治